

極早生ミカン出荷期

糖酸バランス 良い仕上がり

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA伊勢マルゴ柑橘（かんきつ）部は9日、南伊勢町の南勢撰果（せんか）場で、温州ミカンのブランド「マルゴみかん」を出荷した。

初出荷となるこの日は、前日に生産者がコンテナで撰果場に運び込んだ極早生ミカン1トンを、選果機と担当者の目視で、品質や大きさを分けて箱詰めし、市場に送り出した。同部の山川広大会長は「今年産は、糖度が高く、酸も程よく残ったおいしいミカンに仕上がっている」と自信を示した。

本年度の出荷数量は、計400トンの見込み。11月下旬



人の目と機械の目で選果されていく温州ミカン
（9日、三重県南伊勢町で）

から12月下旬をピークに、県内の市場に出荷する。

同部では現在、生産者79人が約40畝で温州ミカンや「セミノール」などのかんきつ類を栽培する。「マルゴみかん」は、広く知られたブランドだ。